



情報セキュリティ政策会議普及啓発・人材育成専門委員会ご説明資料

総務省における人材育成に関する取組 ～実践的サイバー防御演習「CYDER」～

平成26年6月18日(水)

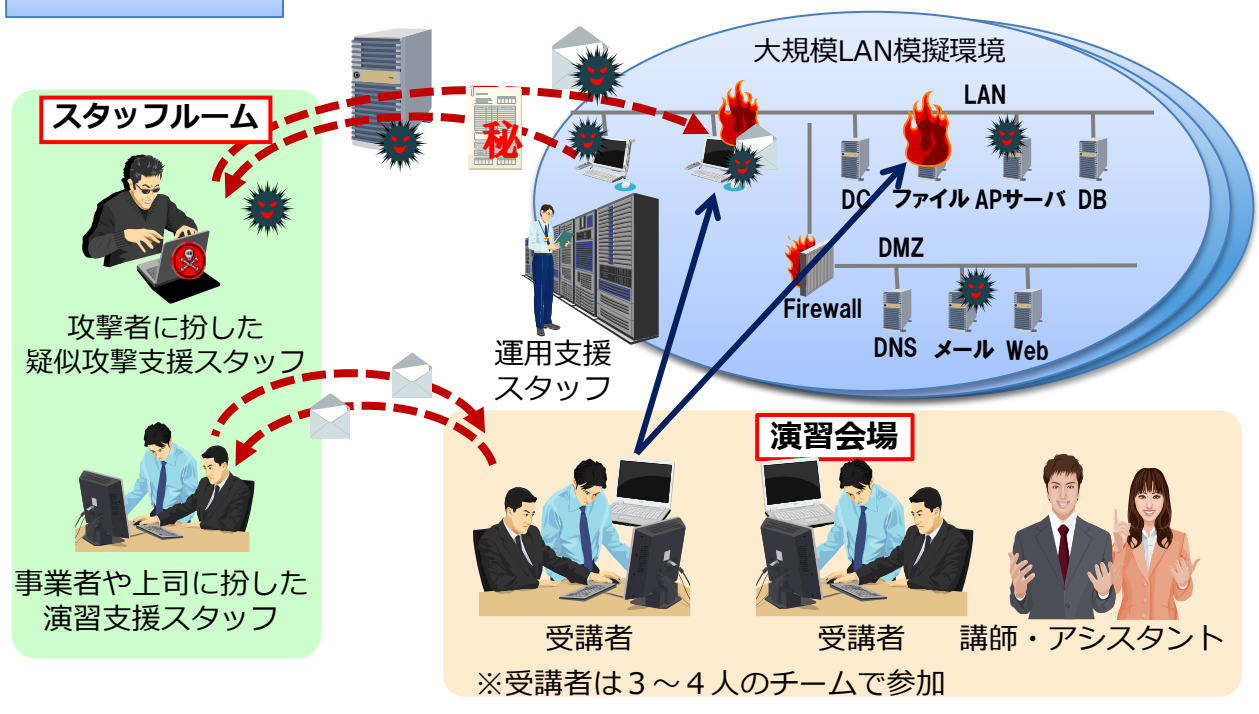
情報流通行政局

情報セキュリティ対策室

CYDER(: CYber Defense Exercise with Recurrence)全体概要

- 官公庁・大企業等のLAN管理者のサイバー攻撃への対応能力向上のため、実践的なサイバー防御演習を実施。
- 職員数千人規模の組織内ネットワークを模擬した大規模環境による、官公庁を対象としたサイバー演習は日本初。
- LAN管理者の能力向上に寄与すると共に、演習で得られた知見を基に防御モデルを確立し広く展開していく予定。
- 「サイバー攻撃解析・防御モデル実践演習」(H24~H29)の一環として実施し、平成25年度は10回実施。

演習イメージ



昨年度演習実績

開催回	開催日
第1回	H25/9/25(水), 26(木)
第2回	H25/10/16(水), 17(木)
第3回	H25/11/13(水), 14(木)
第4回	H25/12/12(木), 13(金)
第5回	H26/1/15(水), 16(木)
第6回	H26/1/29(水), 30(木)
第7回	H26/2/12(水), 13(木)
第8回	H26/2/25(火), 26(水)
第9回	H26/3/3(月), 4(火)
第10回	H26/3/6(木), 7(金)

昨年度演習参加者

省庁(法務省、防衛省等)や独立行政法人、民間事業者などから計33組織、292名が参加

所要経費

平成24年度補正予算額 15.2億円の内数
平成26年度予算額 4.5億円の内数



演習プログラム（2日間）

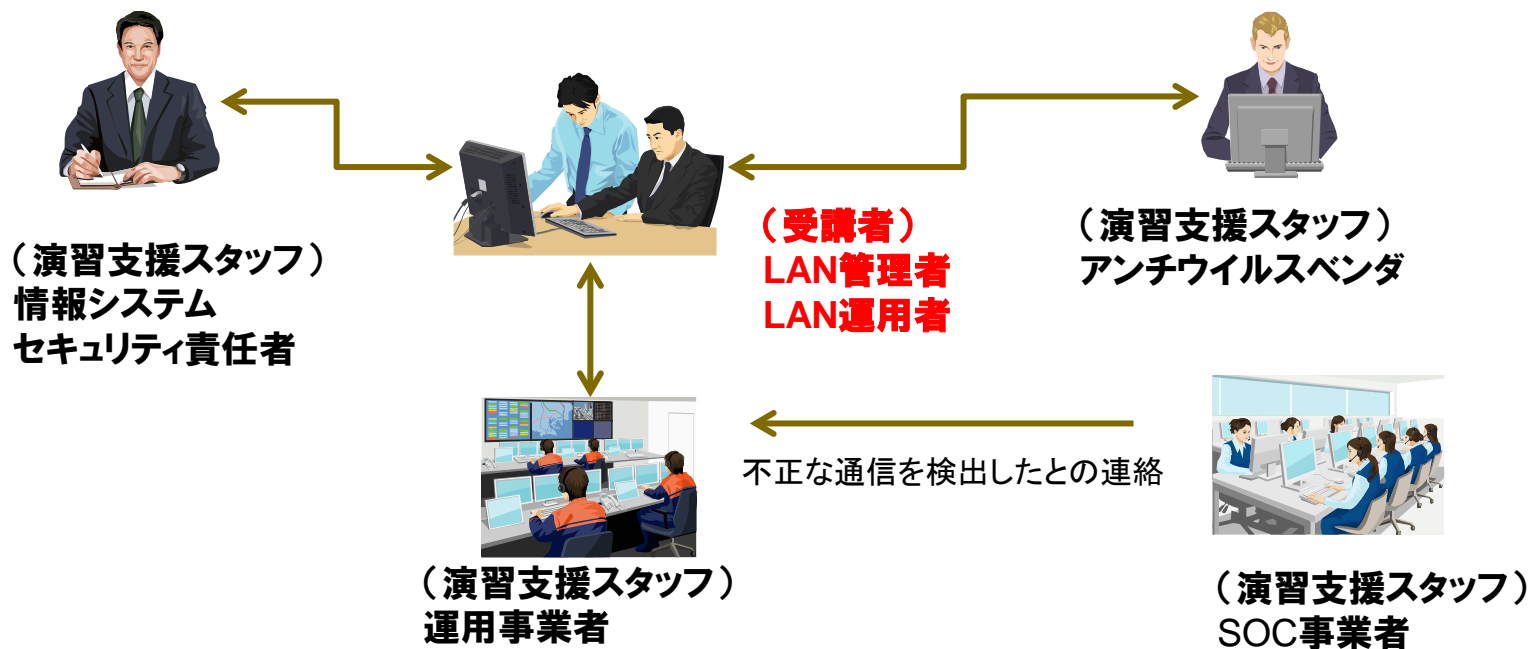
演習初日		演習2日目
午前	<ul style="list-style-type: none">■演習前スキルチェックテスト■講義<ul style="list-style-type: none">- 最近のサイバー攻撃事例の紹介- 演習環境・ツールの解説 等	(演習スタッフによる評価作業 等)
午後	<ul style="list-style-type: none">■演習<ul style="list-style-type: none">- 監視・分析業務- 報告書作成 等	<ul style="list-style-type: none">■講評<ul style="list-style-type: none">- 各チーム報告書の発表- 質疑応答／講師講評 等■演習後スキルチェックテスト



CYDERの特徴①

○演習スタッフが様々な役割を演じることで、実践的なサイバー攻撃への対応を経験できる

平成25年度の演習における登場人物と役割



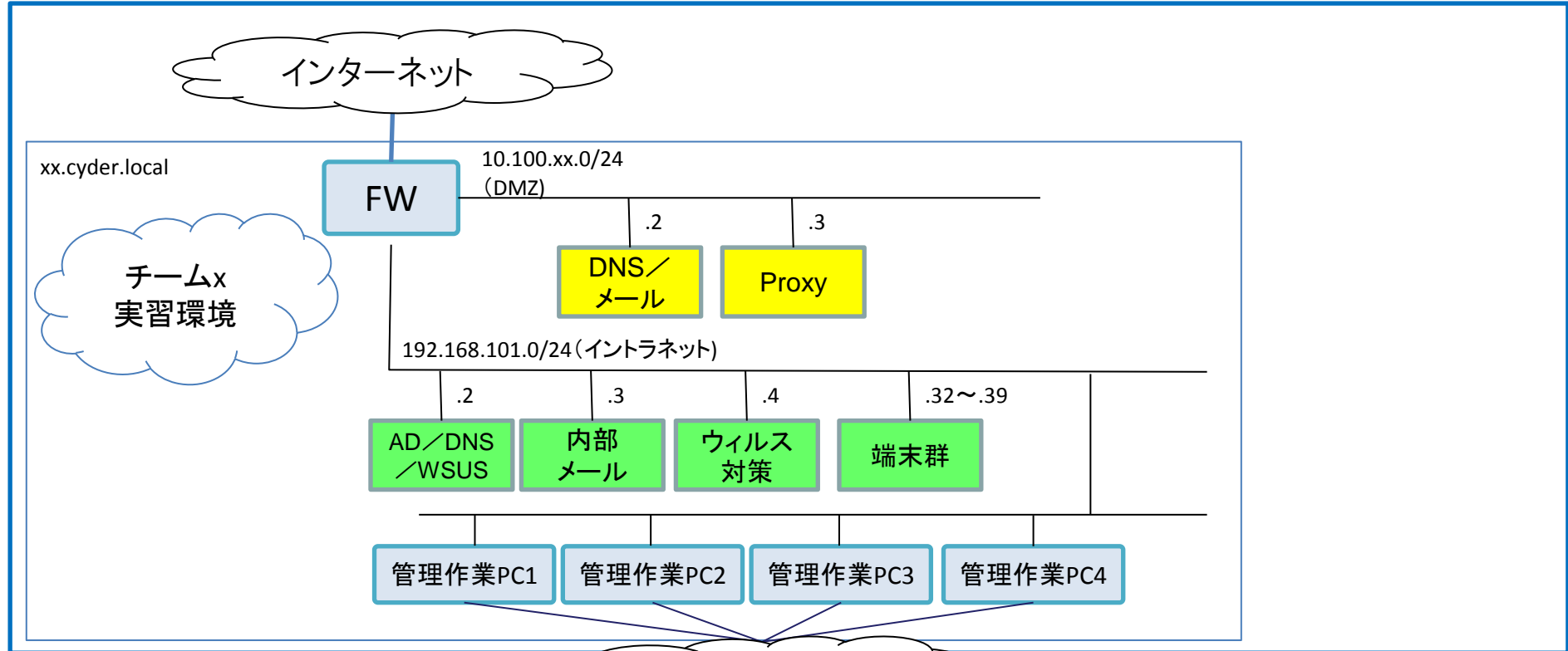
- 【役割】**
- LAN管理者/運用者(受講者): インシデントハンドリングを実施。作業については、運用事業者に指示を出し、情報システムセキュリティ責任者に報告。
 - 情報システムセキュリティ責任者: LAN運用の責任者。LAN管理者の上司。関係者から相談を受け、作業方針を提示。
 - 運用事業者: 役務契約により、サーバやネットワーク機器等の運用業務を行う者。LAN管理者の指示に従い、端末の設定変更や解析、ウイルス対策、ログ解析等を実施。
 - アンチウイルスベンダ: 送付された検体の簡易解析を行い、レポートを提供する外部事業者。



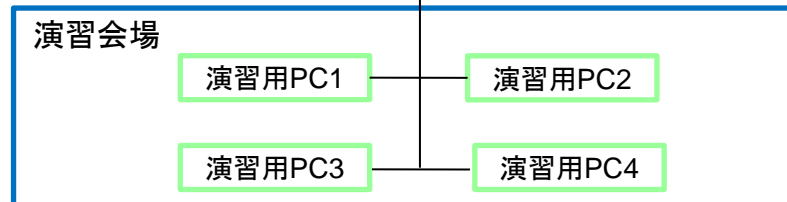
CYDERの特徴②

○大規模な模擬ネットワーク上で演習を行うことで、知識、技術を総合的に習得できる

平成25年度の演習環境



※演習用PCより管理作業PCへリモートデスクトップ接続。





- 演習シナリオを追加、改良しながら平成29年度まで実施予定
- 演習を通じて、サイバー攻撃対応に必要な能力を整理



- サイバー攻撃への防御モデル策定に反映
- 得られた知見の民間への転用を検討